

「気づく」

エピソード

1

みゆきさんは母親の友子さんと兄のマサトさんの3人家族です。

ある日、みゆきさんが家に帰ってみると、友子さんが、テーブルにうつぶせになっています。

みゆき：「どうしたの。お母さん」

友子：「仕事場で頭が痛くなって、
ちょっと横になるわ。」

友子さんは、そのままベッドに行き寝てしまいました。

外は暗くなって、みゆきさんのおなかもグウグウなり出しました。



3

マサト：「ただいまー。みゆき、もうお母さんかえってきているの？」

みゆき：「うん、でも、頭が痛いって寝ているよ。」

マサト：「朝からしんどそうだったけど、せんとくものは干して出かけたんだね。もう暗くなってると、とりこまないと。」

みゆき：「ああ。でも、見たいテレビがあるんだけど…。」

2人でせんとくものをとりこみました。



2

みゆき：「おなかがすいたなあ。
なにかないのかなあ。」

どこをさがしてもおやつも見つかりません。そこに兄のマサトさんが帰ってきました。



4

マサト：「お母さん、だいじょうぶかなあ。しんどかったけど無理して仕事に行ったんだね。」

みゆき：「お母さん、本当に仕事が好きなんだ。」

マサト：「働いていると簡単に休めないのかなあ。責任もあるし……。」

みゆき：「……………」



グループワーク

- 1 最後のマサトさんのセリフについてどう思いますか？
空らんに記入したうえで、グループで話しあいましょう。

マサト

- 2 最後のみゆきさんの「……………」では、どのような気持ちだったと思いますか。
空らんに記入したうえで、感じたことをグループで話しあいましょう。

みゆき

- 3 家庭をささえるためにはどんな仕事があるでしょうか？
また、その仕事は主に家族の中でだれがしているでしょうか？
次の表に書き込んで、感じたことをグループで話しあいましょう。

家庭をささえている仕事	だれがしているか